令和６年度 西部クリーンセンターの放射性物質濃度等の測定結果

◆ 敷地境界における空間放射線量（単位：μＳｖ／時）

Ｓｖ（シーベルト）：人が受ける被ばく線量の単位（人が受ける放射線の量を表す）

μ（マイクロ）　　：10^{-6}（100 万分の 1）

実施回	測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
第１回目	令和６年４月 10 日	0.07	0.06	0.06	0.07	0.05
第２回目	令和６年５月８日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06
第３回目	令和６年６月 12 日	0.07	0.05	0.06	0.06	0.05
第４回目	令和６年７月 10 日	0.06	0.06	0.06	0.07	0.06
第５回目	令和６年８月 14 日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06
第６回目	令和６年９月 11 日	0.07	0.05	0.06	0.06	0.06

※ １か月に１回の頻度で測定を実施。

※ 地表面から約 1ｍの高さで測定を実施。

■ 焼却灰等の放射性物質ごとの濃度（単位：Ｂｑ（ベクレル）／ｋｇ）

Ｂｑ（ベクレル）：放射能の量を表す単位（放射線が出ている量を表す）

第１回

採取日	検体	放射性セシウム１３４	放射性セシウム１３７	放射性セシウムの合計
令和６年５月７日	飛灰※1 ※2	不検出	53	53

※1 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

※2 重金属の溶出を防ぐための薬剤処理を行っていない状態の検体を採取。